

株式会社ソルクシーズ（東証1部：4284）



SOLXYZとは"solution"と"xyz"を合成したもので、究極の問題解決を提供したいという願いが込められています。私たちはお客様の夢を実現するソリューション・カンパニーを目指します。

2019年12月期
第2四半期

機関投資家向け
説明資料

2019年8月

<https://www.solxyz.co.jp/>

会社概要・グループ戦略



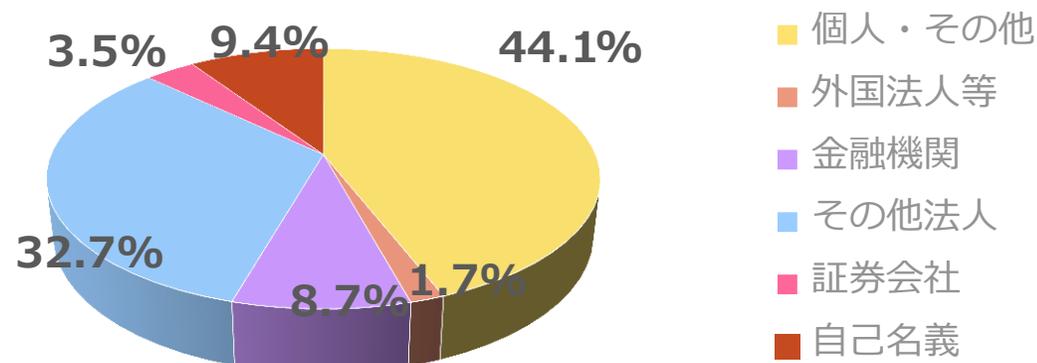
会社概要

商号:	株式会社ソルクシーズ (SOLXYZ Co., Ltd.)
設立:	1981年2月4日
事業内容:	ソフトウェア開発・運用・保守、組込みソリューション
本社所在地:	東京都港区芝浦3-1-21
資本金:	14億9,450万円 (2019/6月末現在)
決算期:	12月31日
従業員数	連結:750名 2019/6月末
役員:	代表取締役社長 長尾 章 他常勤取締役 9名、社外取締役 3名、監査等委員設置
子会社:	10社



代表取締役社長 長尾 章

2019/6末
株主構成

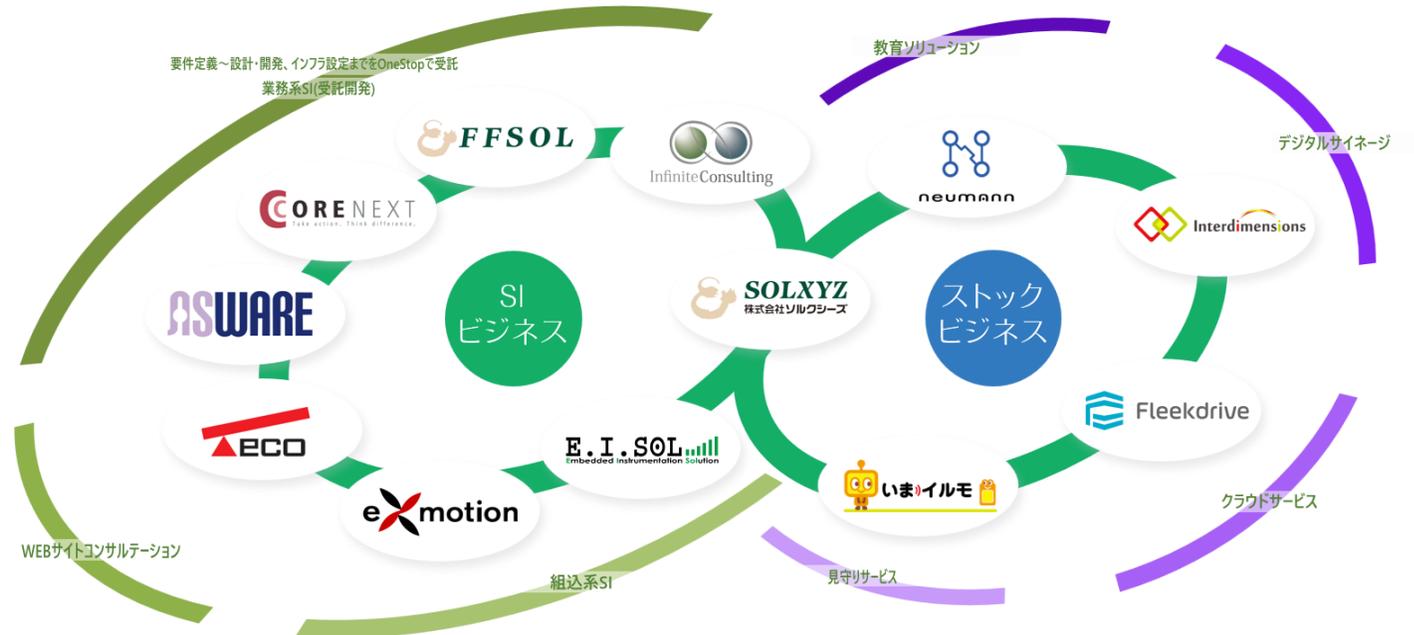
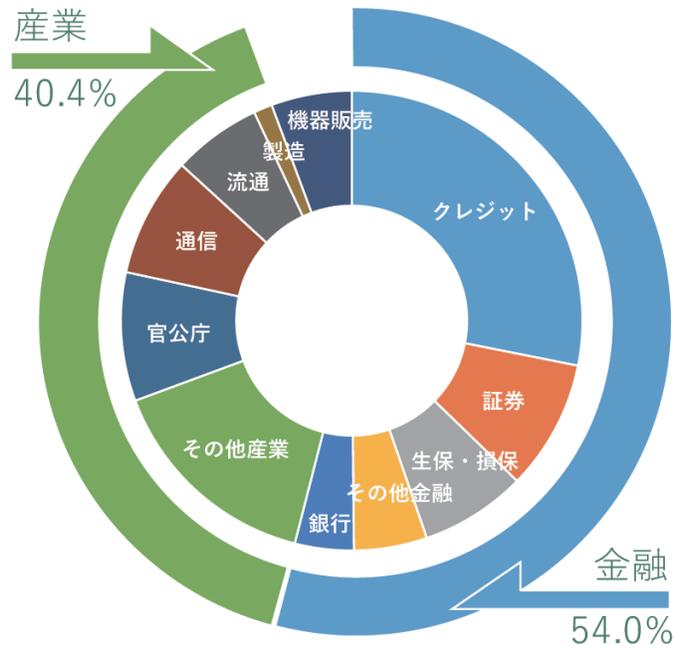


1955年2月23日生
1983年3月 トータルシステムコンサルタント設立 取締役
1998年1月 合併により当社専務取締役
2006年3月 当社代表取締役社長に就任
他グループ企業10社の取締役兼務

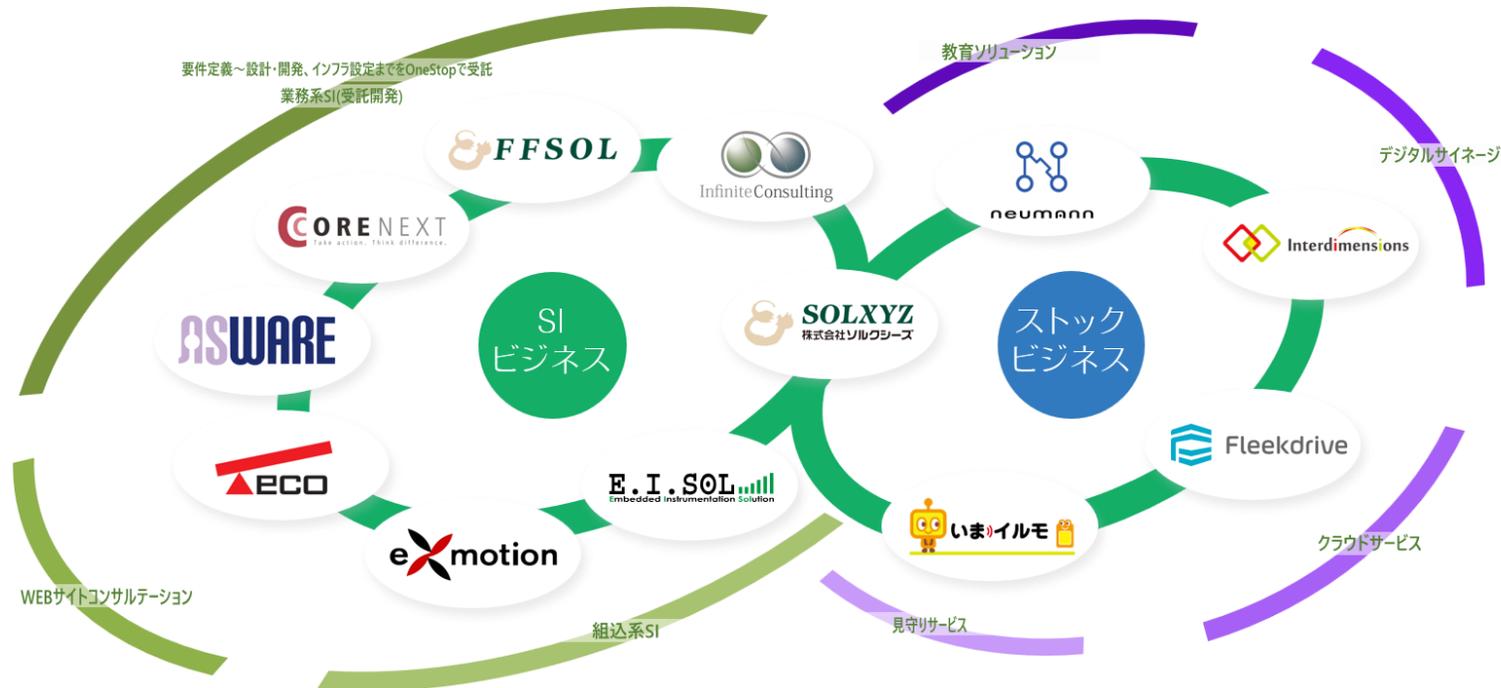
グループ構成

- ソフトウェア開発売上げが全体の90%超、うち54%を金融系が占める
クレジット系などを中心にソリューションを提供
- IoTや自動運転等、専門技術に長けた子会社10社を統括

業種別の構成比



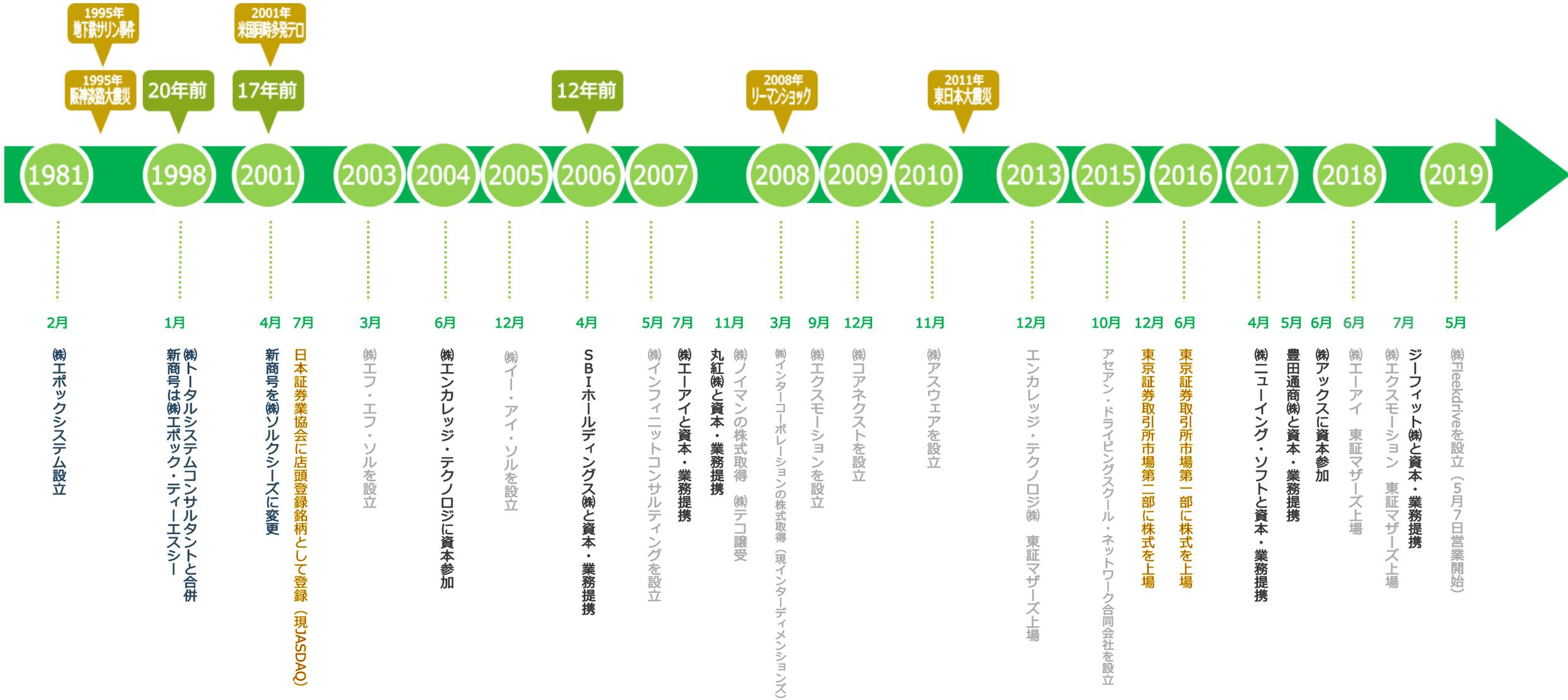
グループ概要 (SIビジネスとストックビジネスの両輪)



S Iビジネス		
会社/サービス名	事業/サービスの内容	主要顧客
インフィニットコンサルティング	S I 上流工程のコンサルティング	証券業、電気機器業、医療機器業
エフ・エフ・ソル	S I 銀行系に特化	ネットバンク、都銀、地銀、信用金庫
コアネクスト	S I 投資顧問系に特化	投資信託業、投資顧問業
アスウェア	S I ICTインフラの設計・構築・保守	SIベンダー、通信業
テコ	WEB ウェブマーケティング、コンサルティング	製品販売業、各種企業
エクスマーション	組込 製造業等の設計支援	自動車製造業、医療機器製造業
イー・アイ・ソル	組込 制御・計測系の組込システム、IoT	装置製造業、計測機器製造業

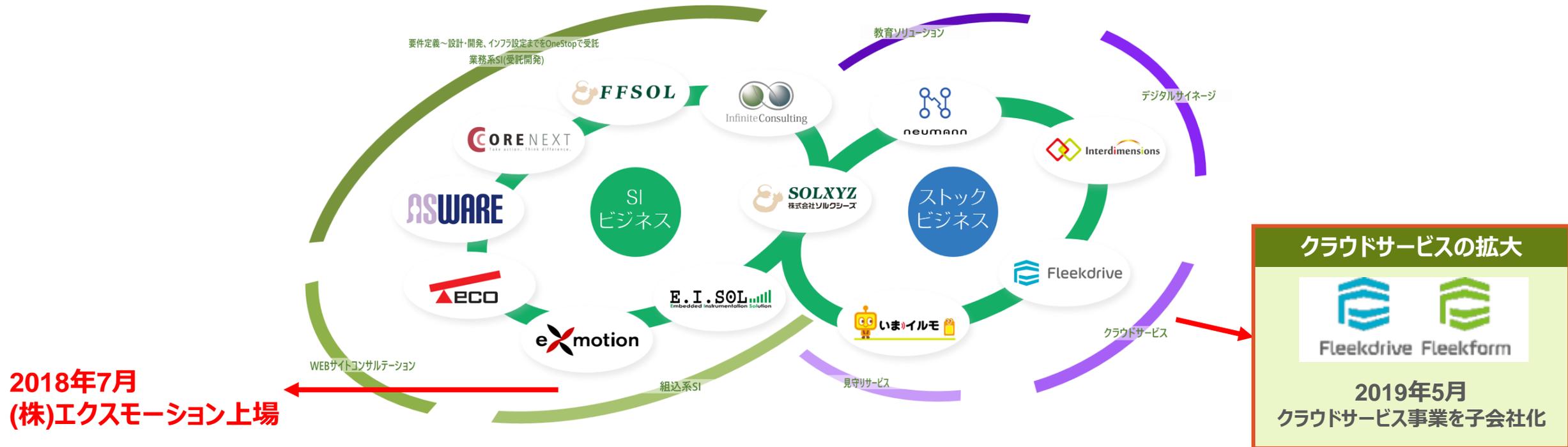
ストックビジネス		
会社/サービス名	事業/サービスの内容	主要顧客
ノイマン	教育機関向けソリューション開発・販売	自動車教習所、学校、塾
インターディメンションズ	デジタルサイネージ、AV、セキュリティ設置販売	商業施設、文教施設、自治体
いま@イルモ	IoTによる見守りサービス	個人、介護施設
NEW! (株)Fleekdrive*	クラウド環境上でのコラボレーションソリューション	各種企業
※5/7よりクラウドサービスを分社化し、(株)Fleekdriveとして営業開始		

沿革



当社グループの成長モデル

- 継続的成長に向け、SIビジネスとストックビジネスの両輪を拡大（両輪施策）
（ストックビジネスについてはM&Aを主軸に展開）
- 利益率向上に向けた、組込み（自動車、IoT等）領域への拡大
- スタートアップ企業への出資と育成による新技術領域とIPO企業の創出



業績概要：
2019年12月期第2四半期決算



第2四半期 総括

■ 売上高： **6,654**百万円（前年同期比**+3.2%**）

営業利益： **368**百万円（同**+66.4%**）

…組込み系システム開発支援等の増益、減損による償却負担減などより利益面が大幅上昇

■ **業績は計画を上回る推移、通期予想を上方修正**

…保守的に見ていた上期の業績が好調のため、通期利益面の予想を+10%超の上方修正

■ **先端技術分野への対応力を強化**

…**クラウドソリューション事業を分割し機動力を強化**。その他、FinTech、AI、IoT等に係る各種団体へ参入

■ **自己株式の取得を実施（既に終了）**

…総額約5億円の自己株式取得を実施（発行済み株式数（自己株式を除く）に対する取得割合：4.5%）

第2四半期決算 損益サマリー

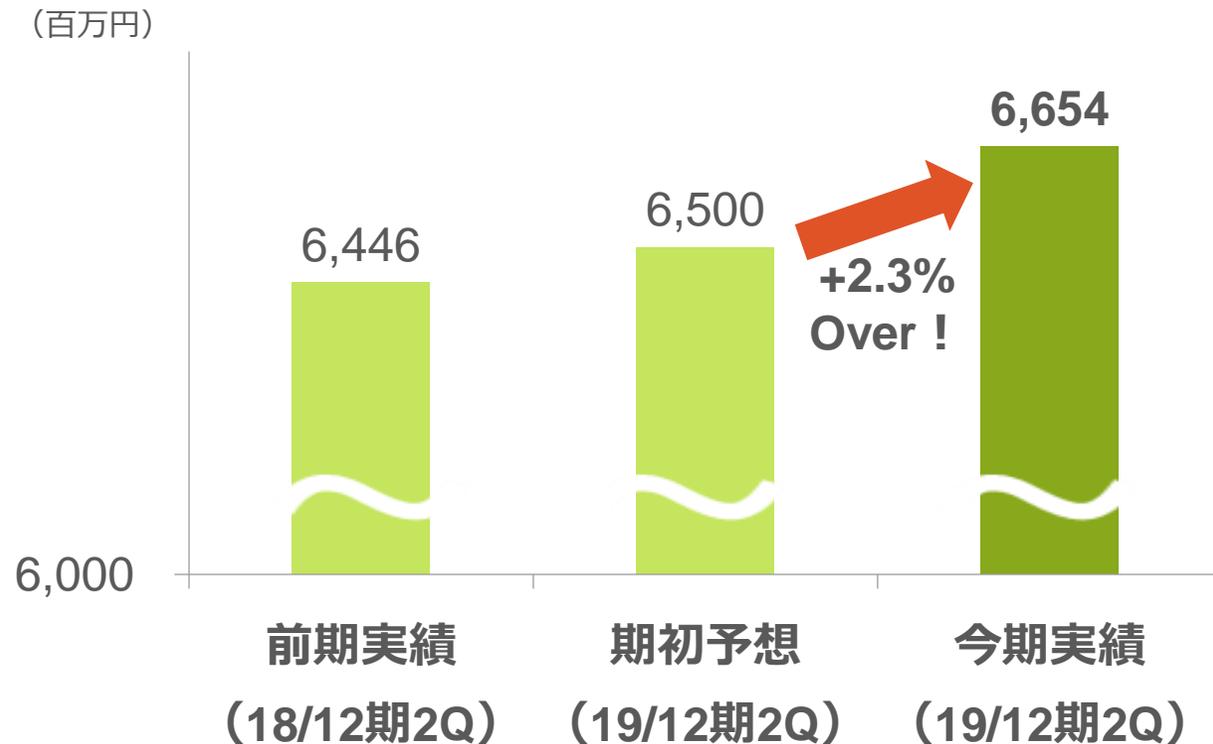
- ・売上高は+3.2%、営業利益は+66.4%と好調に推移
- ・本社移転等により販管費上昇も、組込み系開発支援好調や償却負担減により、各利益率が大幅上昇

(単位：百万円)	2018/12期 2Q	売上高比	2019/12期 2Q	売上高比	前年同期比 増減率
売上高	6,446	-	6,654	-	+3.2%
売上総利益	1,248	20.0%	1,475	<u>22.2%</u>	+18.2%
販売管理費	1,026	16.9%	1,106	16.6%	+7.8%
営業利益	221	3.1%	368	<u>5.5%</u>	<u>66.4%</u>
経常利益	229	3.1%	375	<u>5.6%</u>	<u>64.1%</u>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	126	1.8%	216	3.3%	<u>70.8%</u>

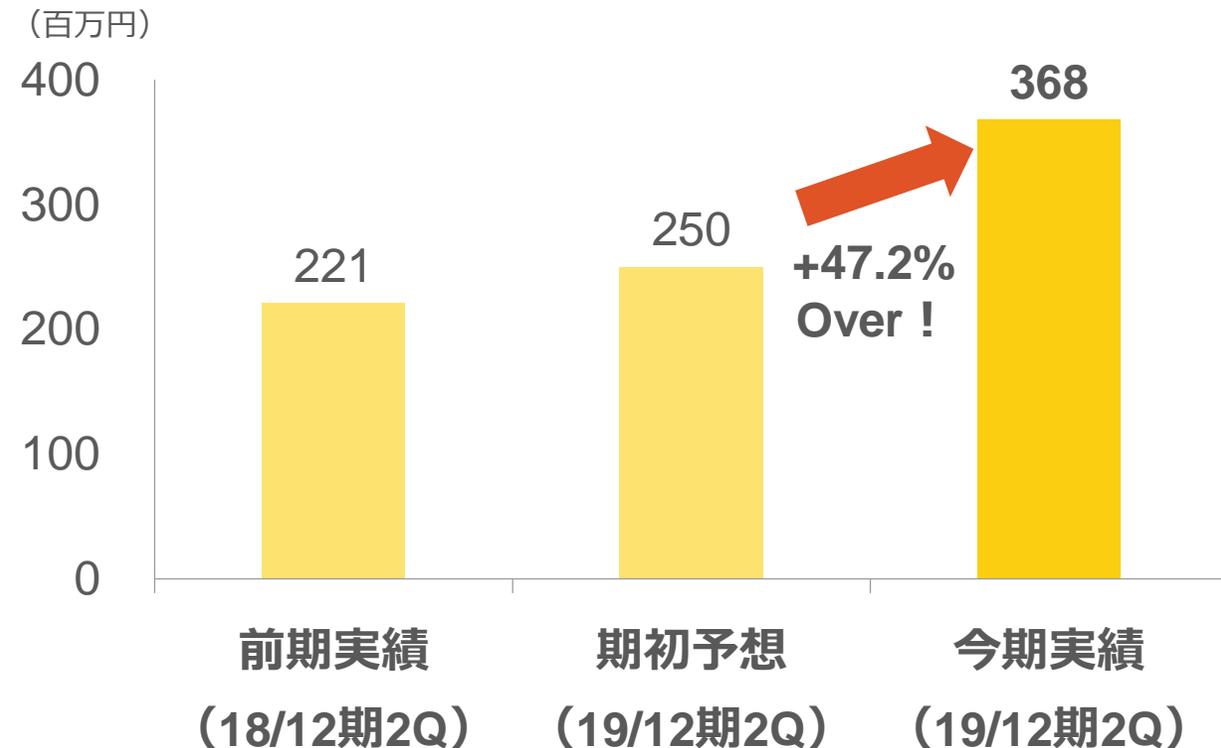
上期期初予想と実績値の比較

- ・前期の不採算プロジェクトのカバーを想定し期初の上期予想は保守的に予想も、開発案件の需要が旺盛のため、期初予想を上回る推移となった

売上高の前期・予想推移比較



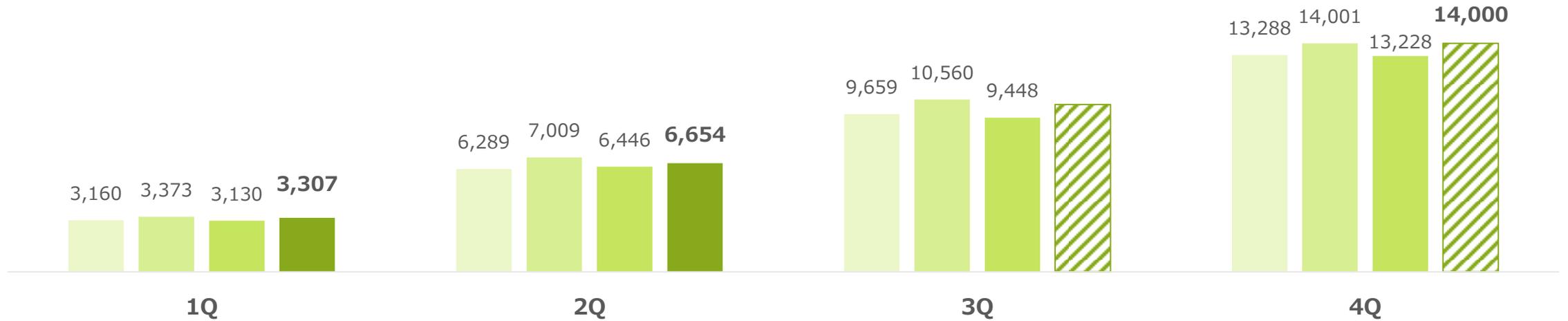
営業利益の前期・予想推移比較



損益サマリー-四半期別推移 (売上高)

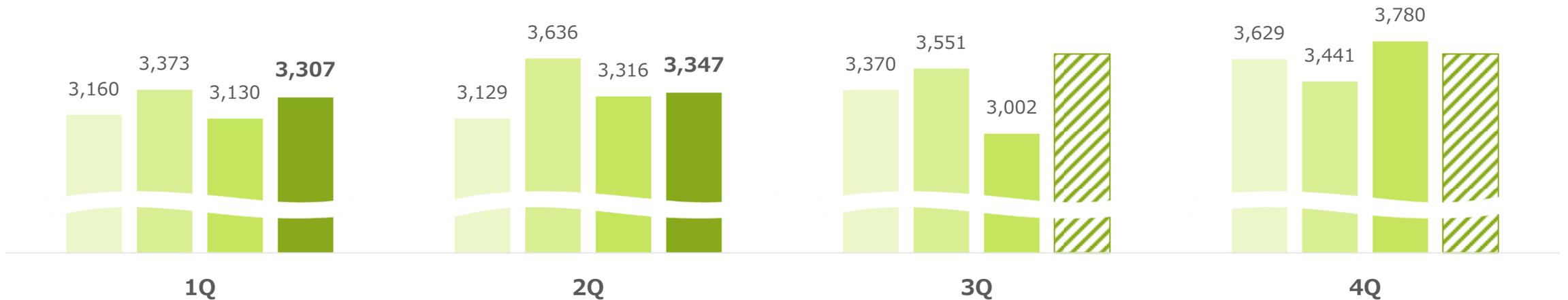
四半期毎の売上高推移 (累計)

■ 16/12期 ■ 17/12期 ■ 18/12期 ■ 19/12期 (計画含む)



四半期毎の売上高推移 (四半期別)

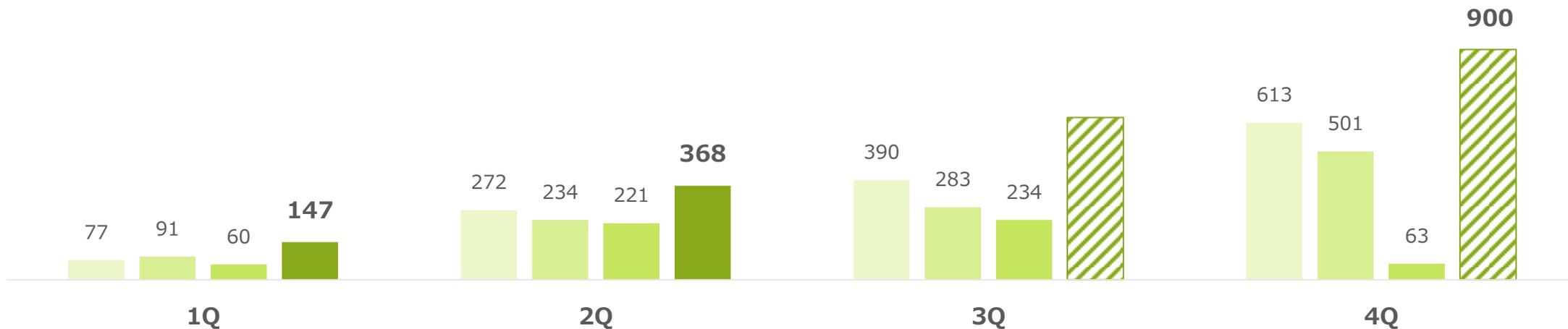
■ 16/12期 ■ 17/12期 ■ 18/12期 ■ 19/12期



損益サマリー-四半期別推移 (営業利益)

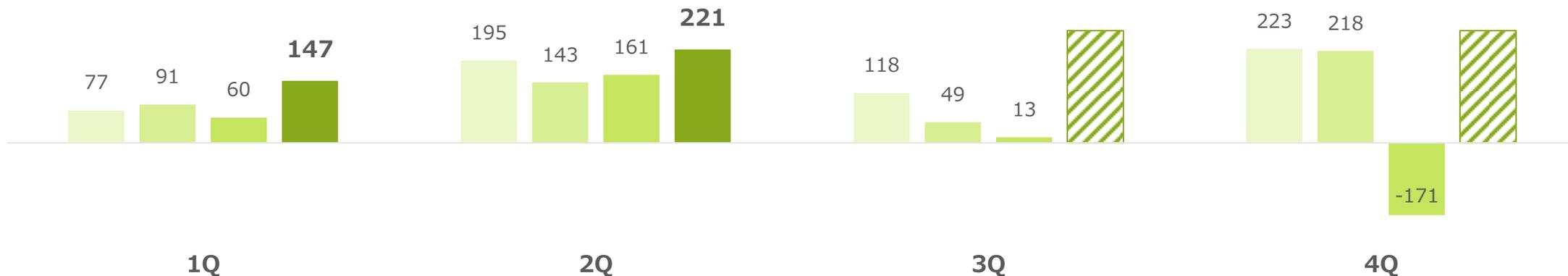
四半期毎の営業利益推移 (累計)

■ 16/12期 ■ 17/12期 ■ 18/12期 ■ 19/12期 (計画含む)



四半期毎の営業利益推移 (四半期別)

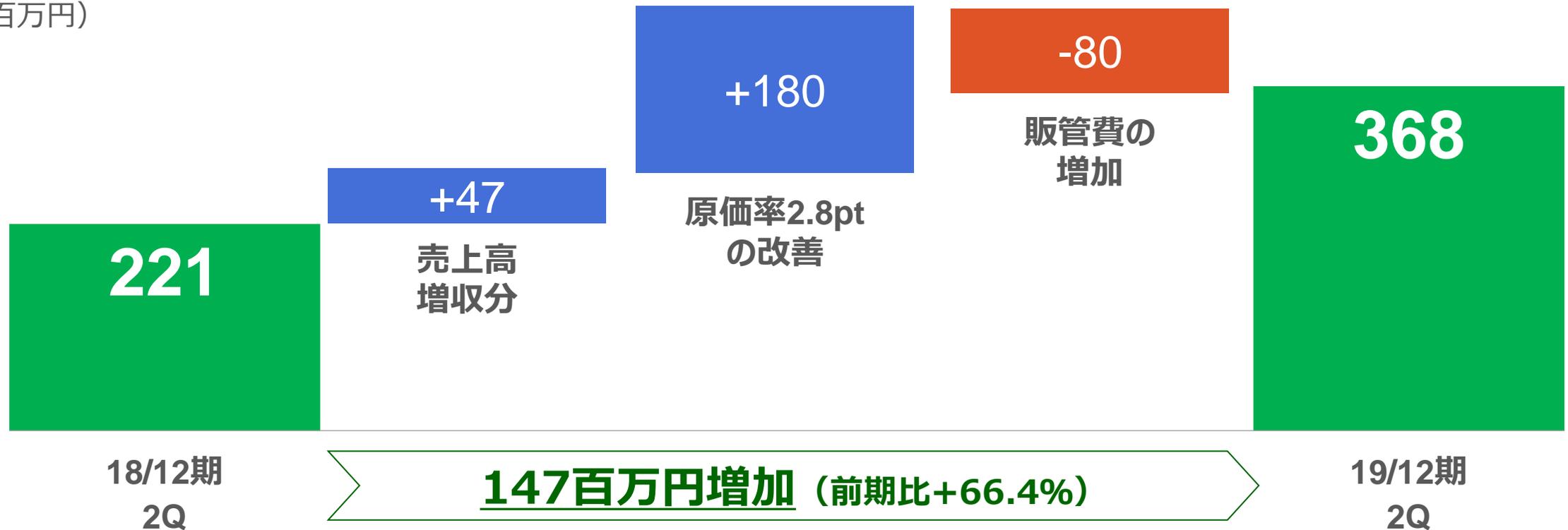
■ 16/12期 ■ 17/12期 ■ 18/12期 ■ 19/12期



営業利益の変動要因

- ・営業利益は前期比+66.4%と大幅上昇
- ・増収分に加え、利益率の高い組込み系開発支援の伸長、外注費の下落基調入りにより、原価率も改善

(百万円)

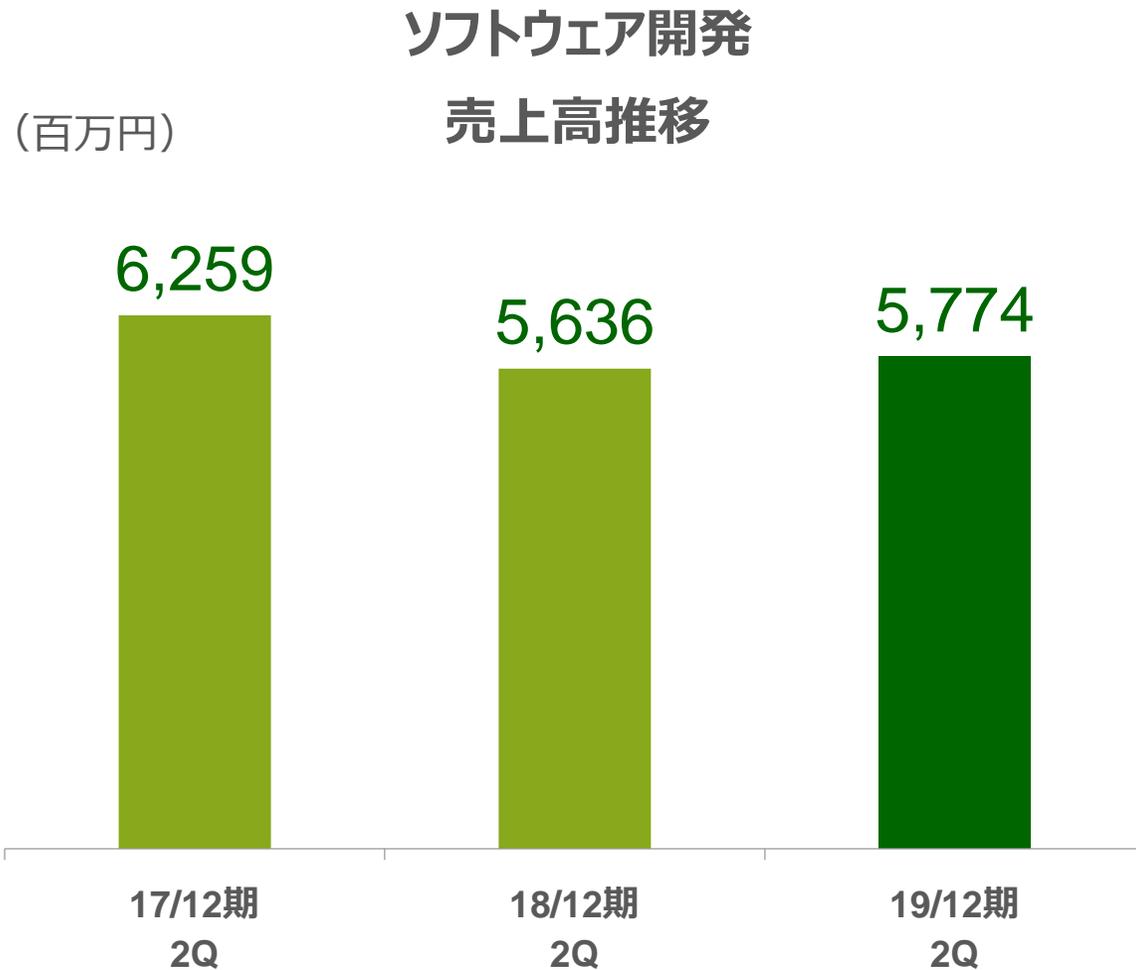


セグメント別損益の前期比

- ・SI/受託開発は官公庁、流通業界などの開発案件、組込み開発支援が好調
- ・ソリューション事業はクラウド事業などが好調のため、大きく上昇

(単位：百万円)	2018/12期	売上高比	2019/12期	売上高比	前年同期比 増減率
	2Q		2Q		
売上高 (A+B)	6,446	-	6,654	-	3.2%
ソフトウェア開発 (A)	6,245	96.9%	6,480	97.4%	3.8%
SI / 受託開発	5,632	87.4%	5,774	86.8%	2.5%
ソリューション	613	9.5%	<u>706</u>	<u>10.6%</u>	<u>15.2%</u>
デジタルサイネージ (B)	200	1.7%	173	2.6%	-13.6%

セグメント別推移-ソフトウェア開発事業-1 (S Iビジネス)



□ 売上高 : 5,774百万円

前期比 : +2.5%

- ✓ 企業のIT (デジタルトランスフォーメーション) 投資は堅調に推移し、事業全般が好調に推移
- ✓ 官公庁、流通、製造業向けのSI/受託開発が好調
- ✓ 自動車メーカーや製造業を中心とした利益率の高い組込みシステム開発及び開発支援が伸長

※当セグメントの詳細

情報システムの分析、設計～開発、移行・保守サービスが主な対象

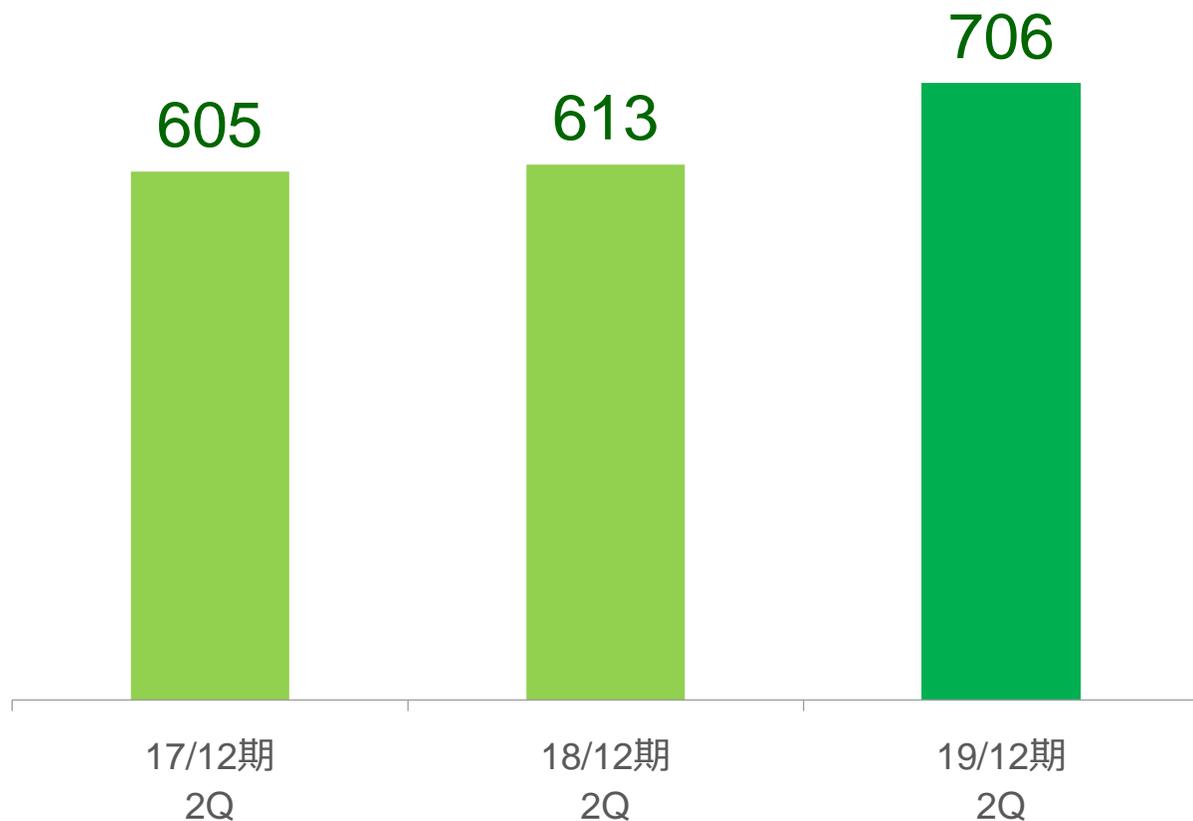
計上対象の売上げ :

当社本体、エフ・エフ・ソル、イーアイ・ソル・インフィニットコンサルティング、エクスモーション、teco、コアネクスト、アスウェアの各売上げ

セグメント別推移-ソフトウェア開発事業-2（ソリューションビジネス）

ソリューション事業 売上高

(百万円)



□ 売上高：706百万円

前期比：+15.2%

- ✓ 5月にクラウドサービス「Fleekシリーズ」を（株）Fleekdriveとして事業承継、営業本格化
- ✓ 営業強化によりFleekシリーズの顧客数・売上高が増加

※当セグメントの詳細

パッケージソフトのライセンス、カスタマイズ・保守、セキュリティコンサルティング関連が主な対象

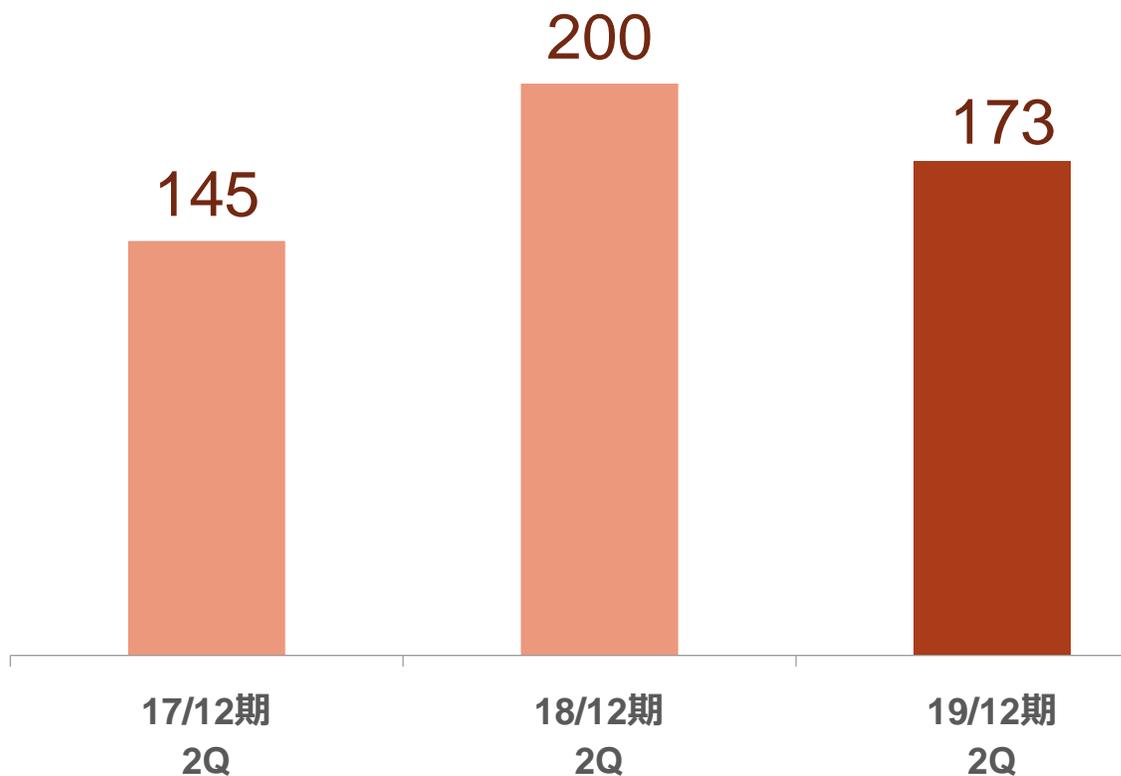
計上対象の売上げ：

ソルクシーズのソリューション部（機器販売除く）、クラウド事業推進部の売上、及び連結子会社ノイマン、Fleekdriveの売上げ

セグメント別推移-デジタルサイネージ事業

デジタルサイネージ事業 売上高 推移

(百万円)



□ 売上高：173百万円

前期比：-13.6%

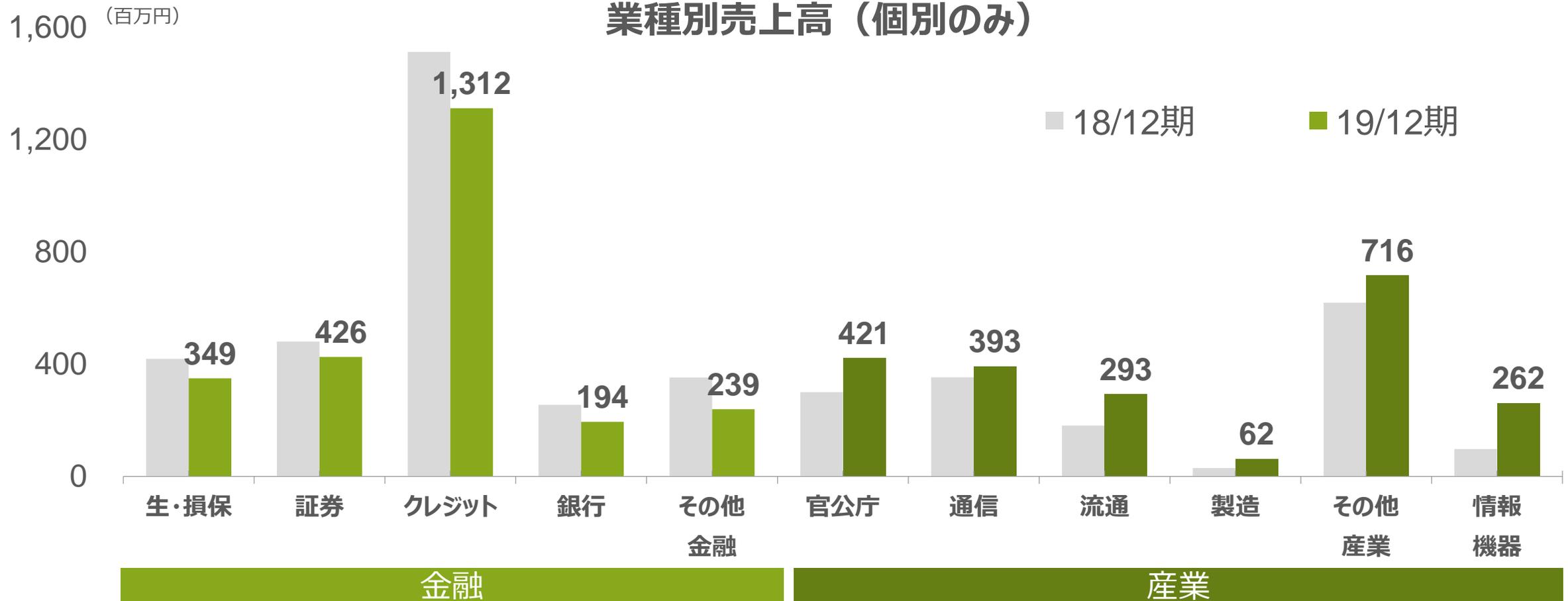
✓ 四半期ごとに需要にバラつきがあり、上期減収

※当セグメント計上対象の売上げ：

S/I受託開発、ソリューション業務以外の売上げ=インターディメンションズの売上げが対象

業種別売上高の内訳（個別のみ）

- ・前期の影響により金融系の案件の立ち上がりが鈍化したため、産業系が一時的に増加
- ・下期は金融系の案件も通常どおり伸長の見込み



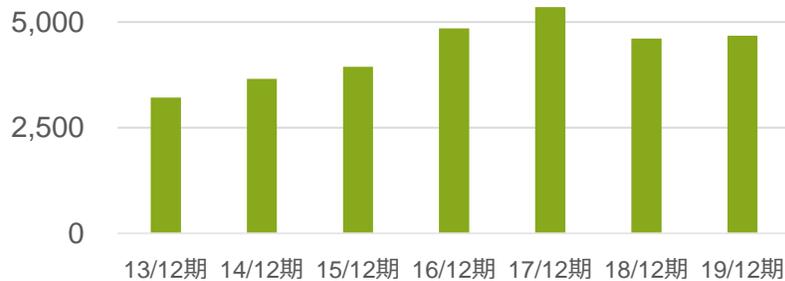
グループ会社の業績概要イメージ-1（第2四半期累計売上高）

- ・企業のIT投資は総じて堅調で、グループ全体を通して売上高は堅調に推移
- ・1Qに続きIoTに強いイー・アイ・ソル、昨年上場した自動運転のエクスマーションなどが好調

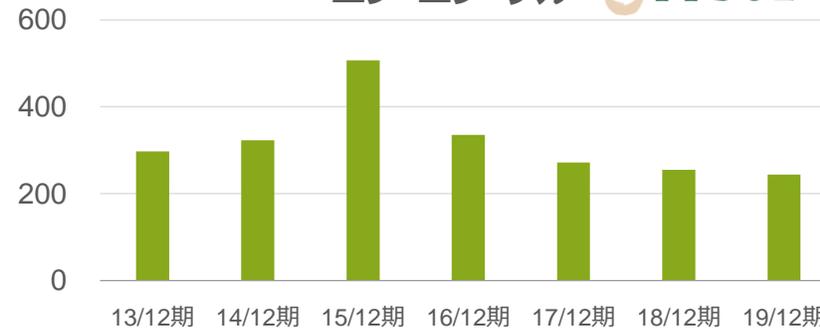
各子会社の四半期売上高イメージ（2Q）

※単位（縦軸）は全て百万円

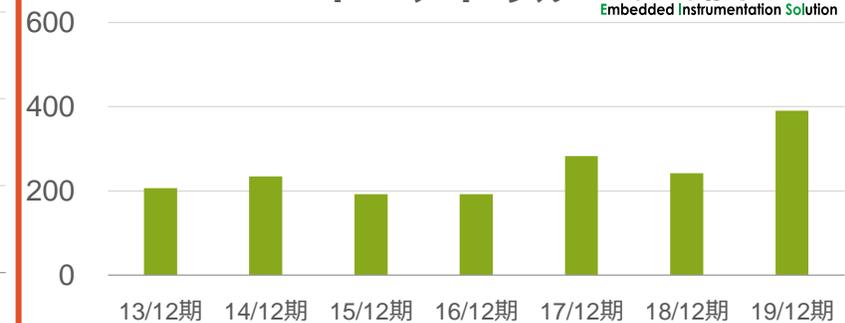
単体 SOLXYZ



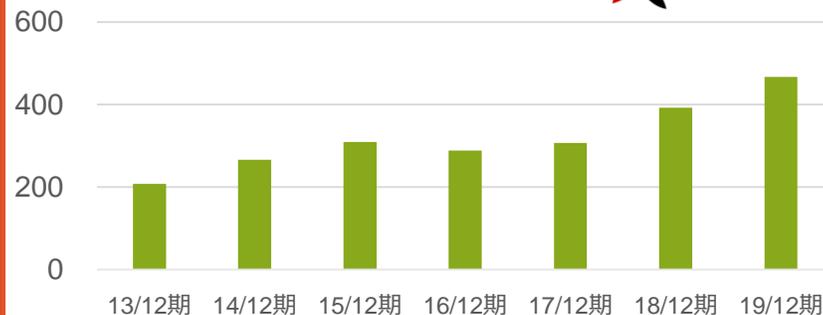
エフ・エフ・ソル FFSOL



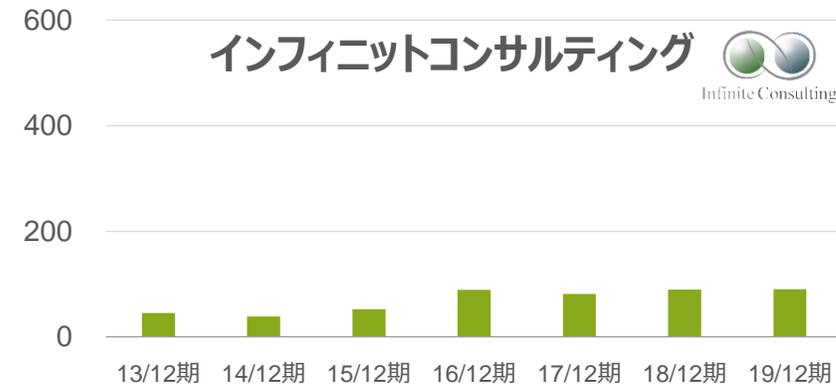
イー・アイ・ソル E.I.SOL Embedded Instrumentation Solution



エクスマーション eXmotion



インフィニットコンサルティング Infinite Consulting



グループ会社の業績概要イメージ-2（第2四半期累計売上高）

- ・デジタルトランスフォーメーション投資は総じて堅調で、グループ全体を通じ、売上高は堅調に推移
- ・特にIoTに強いイー・アイ・ソル、昨年上場した自動運転のエクスマーションなどが好調

※単位（縦軸）は全て百万円

各子会社の四半期売上高イメージ（2Q）

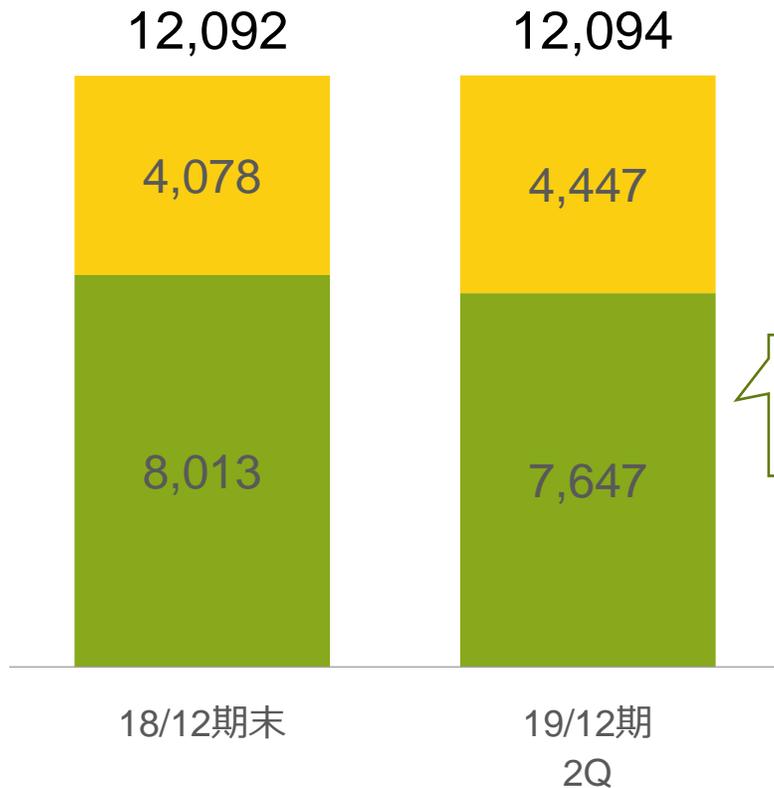


貸借対照表

・自己資本比率は46.9%と健全な範囲で推移

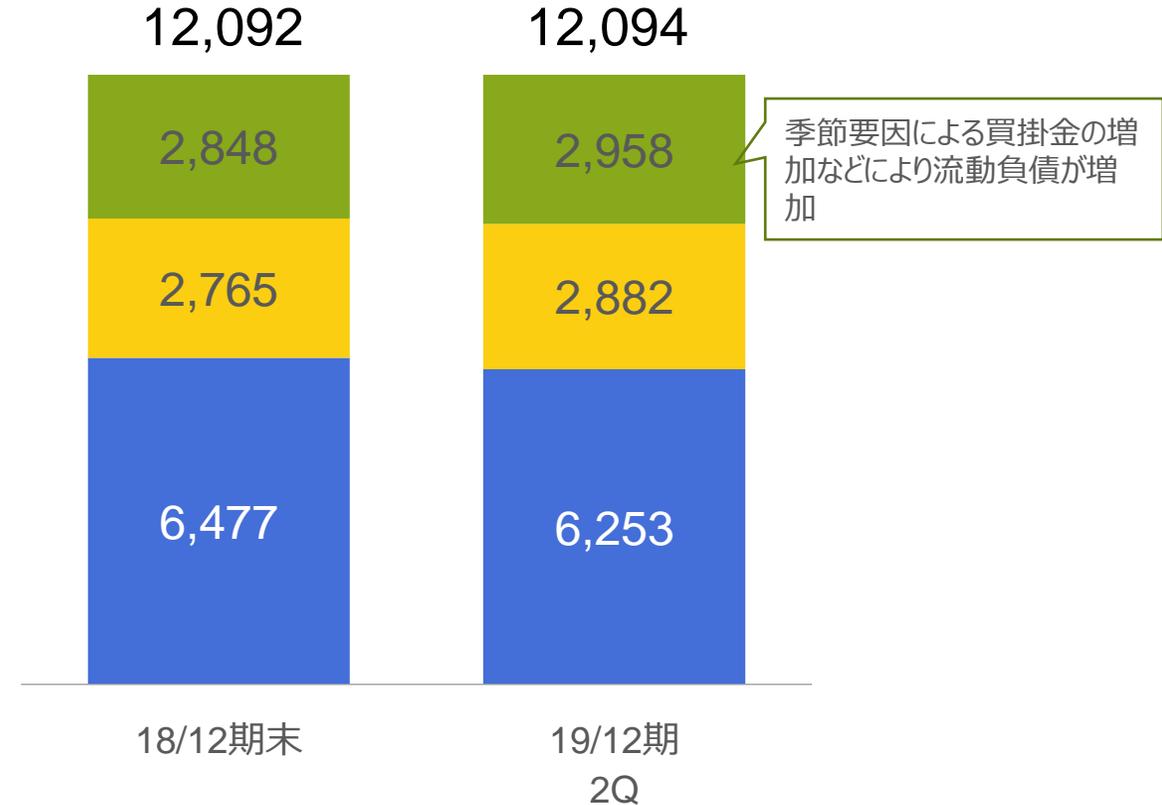
資産

■ 固定資産 ■ 流動資産



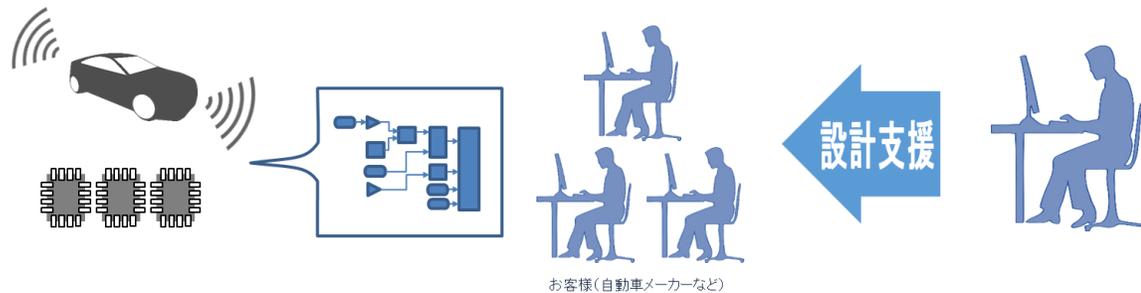
負債・純資産

■ 流動負債 ■ 固定負債 ■ 純資産



組込み分野拡大：自動車・メディカル（エクスマーション）

(株)エクスマーション（4394・東証マザーズ）

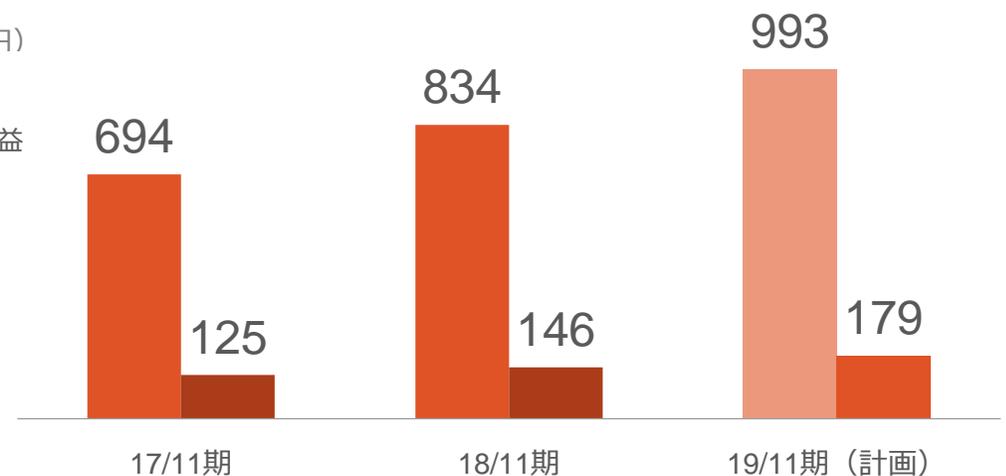


- ・ソフトウェアエンジニアリングのコンサルティングファーム
- ・強みの自動運転、医療機器分野の受注が好調で、上場効果により採用も順調
- ・CASE*分野では最先端に位置し、国内大手企業との案件も多数

(百万円)

■売上高

■経常利益



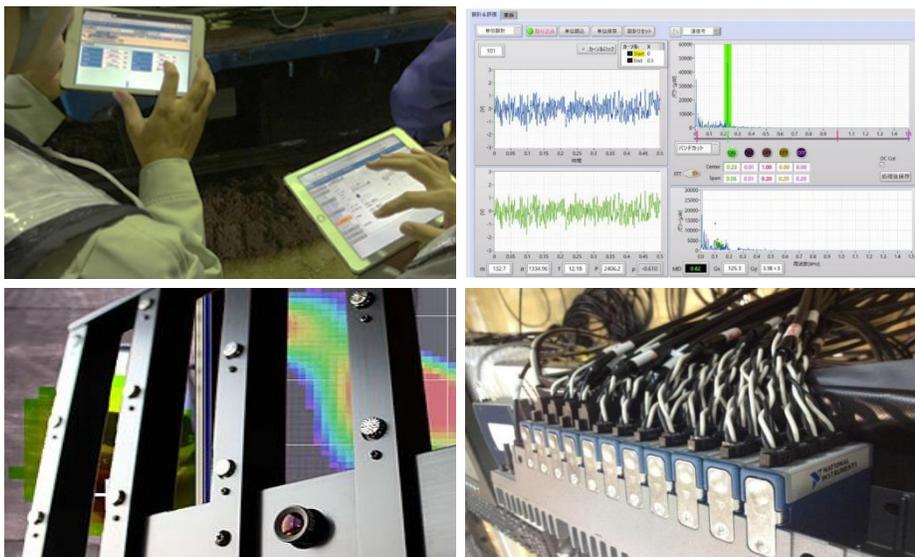
*CASE = Connected (つながる)、Autonomous (自動運転)、Shared (共有)、Electric (電動)、以上の先端技術分野の頭文字を組み合わせた総称

組込み分野拡大：IoT（イー・アイ・ソル）

(株)イー・アイ・ソル

E.I.SOL 
Embedded Instrumentation Solution

- ・ IoT（IIoT）・組込・制御・計測関連（特にセンサー系）のソリューションに特化
- ・ IoTを駆使した工場の「予知保全システム」は、日本ナショナルインスツルメンツ社のデバイスCompactRIO等とEISOLの組込ソリューションの組み合わせであり、**既に導入実績あり**
- ・ 既に大手製造業とのIoT案件もあり好調、今後3か年で堅調な成長を予定



イー・アイ・ソル
3か年売上高推移イメージ



ストック分野の拡大：クラウドソリューションの強化

19年5月、クラウドサービス事業を会社分割し、（株）Fleekdriveを設立
拡大する**クラウド（SaaS）市場への機動力を強化**



Fleekdrive

2つのSaaSソリューションを展開



Fleekdrive

企業向けオンラインストレージ

- ・セキュアな環境を確保
- ・社内&企業間でのファイル共有
- ・複数人での編集機能



Fleekform

クラウド帳票管理ツール

- ・エクセルだけで帳票デザイン
- ・Salesforceと連携



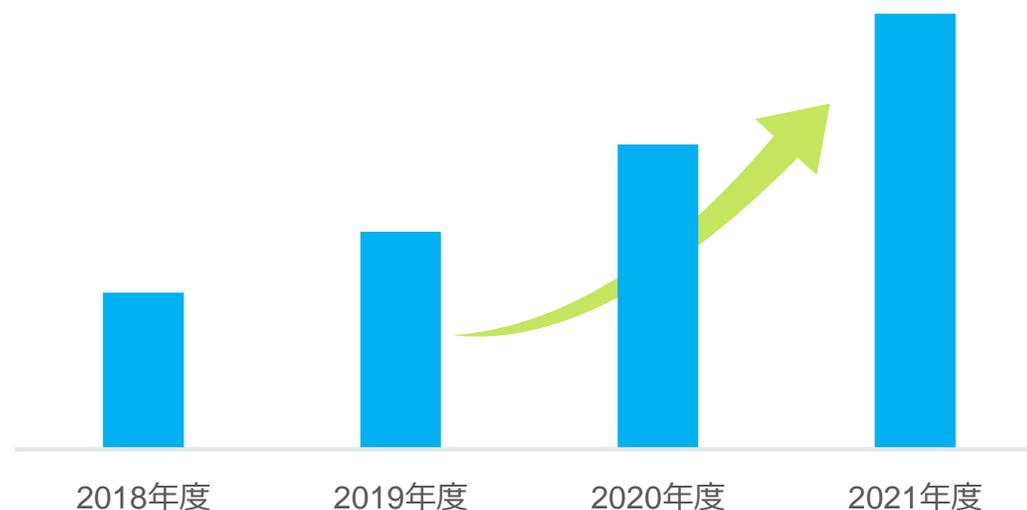
ストック分野の拡大：クラウドソリューション ((株)Fleekdrive)

Fleekシリーズ詳細

- ・ 2012年より開始、**大手含め契約社数は約400社弱**
- ・ セールスフォース・ドットコムとも連携、顧客評価で最高位獲得
- ・ 最大5人まで格納データを同時編集可能のため、法人の利用に最適
- ・ **海外の個人向けストレージサービスと異なり法人向けに強いため、一定のボリュームを持った売上げの確保が可能**
- ・ 月額サブスクリプションモデルのため、**ストック型収益の確保に寄与**
- ・ 現状**国内での競合はなく**、最大手の競合は某海外ユニコーン企業
- ・ 慢性的な人材不足による業務効率化の波が需要を後押し、**まずは営業強化により顧客数の拡大に努める**



(株)Fleekdriveの
3か年売上高推移イメージ



トピックス：各種先端分野団体への参画

- ・今後の先端技術の発展を見据え、産学連携を含めた業界団体との関係性を強化

スマートエスイーコンソーシアムに入会



- ・早稲田大学理工学部の研究所が中心の産学連携の団体
- ・超スマート社会（Society5.0）の到来に備えたAI・IoT等の育成のため、先端技術の教育プログラムを展開

SBIグループの証券コンソーシアムに参画

FinTech

- ・SBIグループの一部であるSBI Ripple Asia（株）が主導するコンソーシアム
- ・FinTechへの対応力強化の一環として参加

「IoTイノベーションチャレンジ2019」 プラチナスポンサーとして協賛



- ・（社）組込みシステム技術協会が主催するIoTビジネスの企画を主眼としたコンテスト
- ・国連採択のSDGsの重要分野であるIoTビジネスの推進と人材育成を目的に開催
- ・当社は最上位のプラチナスポンサーとして協賛

トピックス：自己株式の取得

4月より総額約5億円の自己株式の取得を実施、8月に取得終了
今後も効果的な株主還元を検討・継続

自己株式取得の概要

取得株式総数	549,200株 (6月末自己株式を除く発行済み株式総数に対する割合 4.5%)
取得価額総額	約5億円 (499,934,400円)
取得方法	東京証券取引所における市場買い付け
取得期間	2019年4月1日~2019年8月6日 ※既に取得終了
前期自己株式数	977,340株 (発行済み株式総数：12,432,957株)

修正後通期業績予想

- ・前期の不採算プロジェクトの影響で低めに見ていた上期が想定以上に好調に推移
- ・組込み開発系の伸長 & 単価の上昇・外注費の低減により、期初計画から利益面を上方修正

(単位：百万円)	2018年度		2019年度			前年同期比
	実績	売上高比	期初予想	修正予想	売上高比	
売上高	13,228	-	14,000	14,000	-	+5.8%
売上総利益	2,194	16.6%	3,000	3,100	22.1%	+41.3%
販売管理費	2,131	16.1%	2,200	2,200	15.7%	+3.2%
営業利益	63	0.5%	800	900	5.7%	-
経常利益	78	0.6%	800	900	5.7%	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	147	1.1%	450	550	3.2%	+274.1%

業績予想進捗

- ・期初より下期偏重の計画としていたが、上期が想定を上回る数値で推移し、計画を超過
- ・下期も計画どおり進捗し、計画を達成の見込み

(単位：百万円)	2019/12期 2Q実績	2019/12期 通期予想	通期進捗	期初の 想定2Q進捗率
売上高	6,654	14,000	47.5%	46.4%
売上総利益	1,475	3,100	47.6%	43.3%
営業利益	368	900	40.1%	31.3%
経常利益	375	900	41.7%	31.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	216	550	39.3%	28.9%

株主還元方針

- ・配当内容は期初より変更なし
- ・業績や配当性向を考慮しながら、今後も安定した配当の実施を重視
- ・自己株式取得により株主還元を実行

年度	中間	期末	合計	配当性向
2017年12月期	0.00円	8.00円	8.00円	23.7%
2018年12月期	0.00円	15.00円	15.00円	126.0%
2019年12月期（予）	0.00円	10.00～ 15.00円	10.00～ 15.00円	22.1～ 33.1%

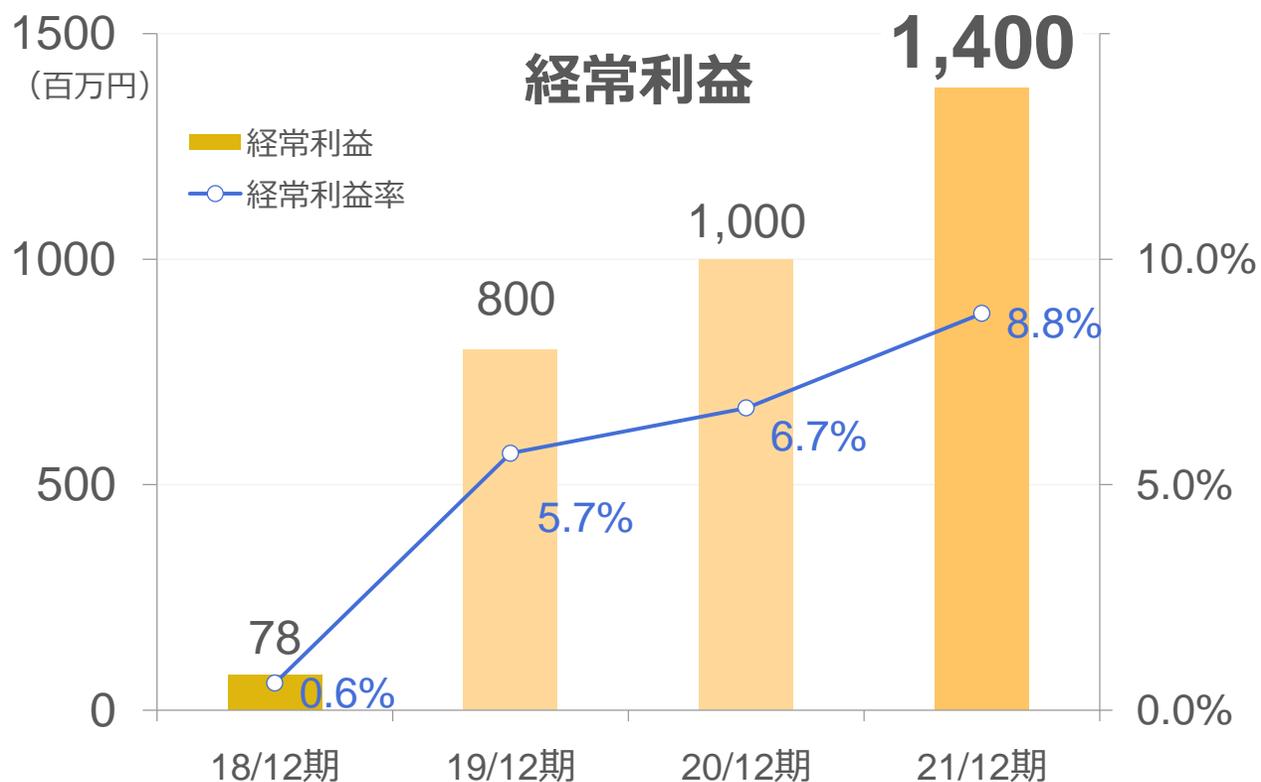
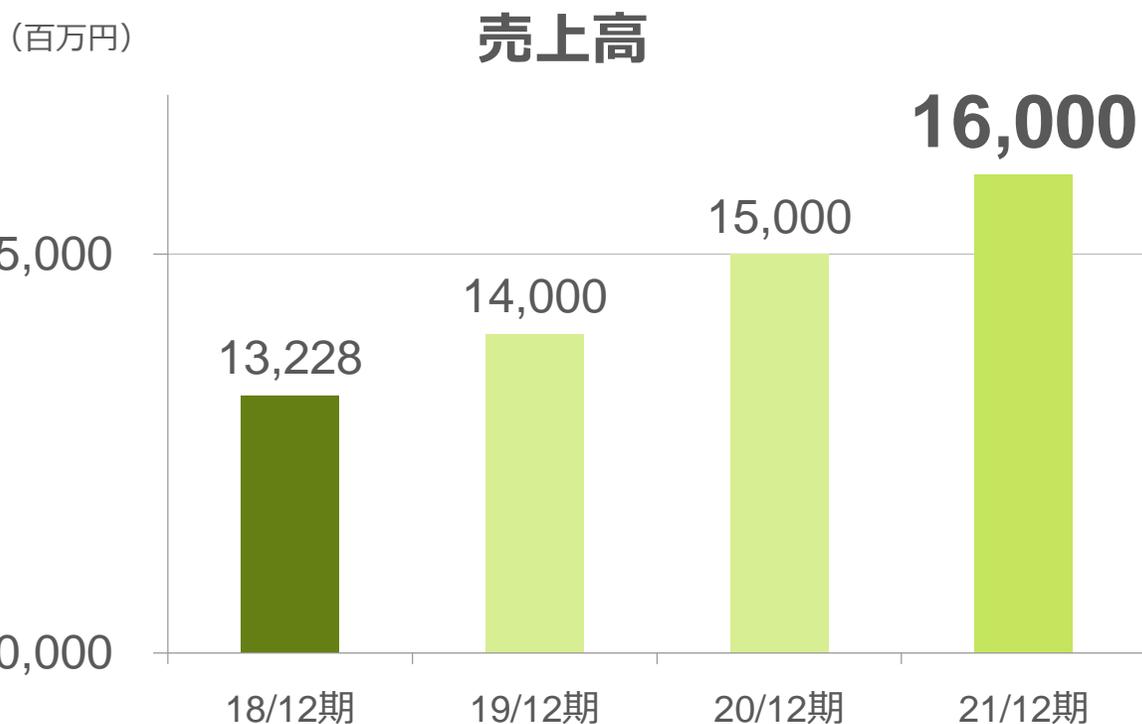
中期経営計画（19/12期~21/12期）

（2019/1/31公表）



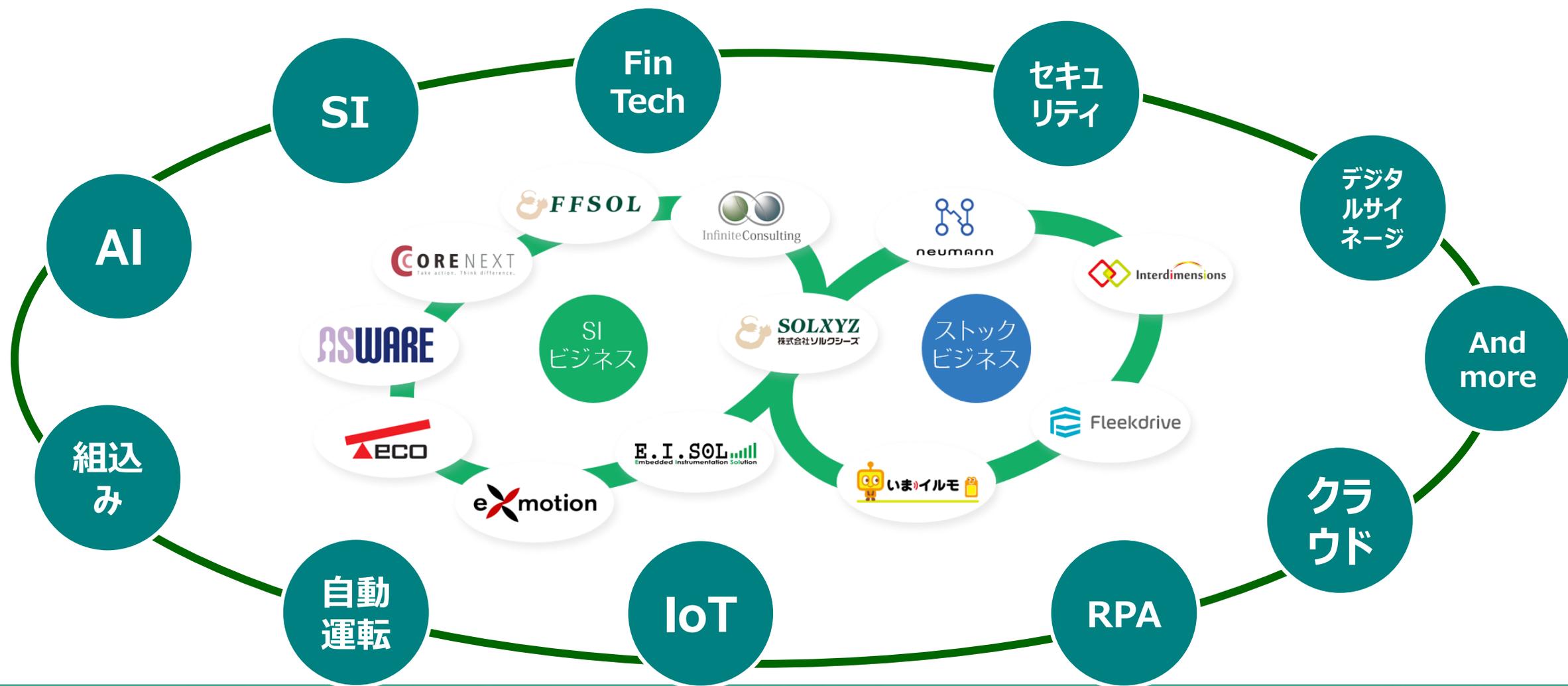
中期経営計画

- 毎年ローリングで策定・見直し
- 旺盛な需要から、最終年度には18/12期比で売上高+21%、経常利益14億円を想定
- 利益率の高いエクスマーション、クラウド事業が成長するため、利益率も向上の見込み



グループ全体で最新分野をカバー（専門店化戦略）

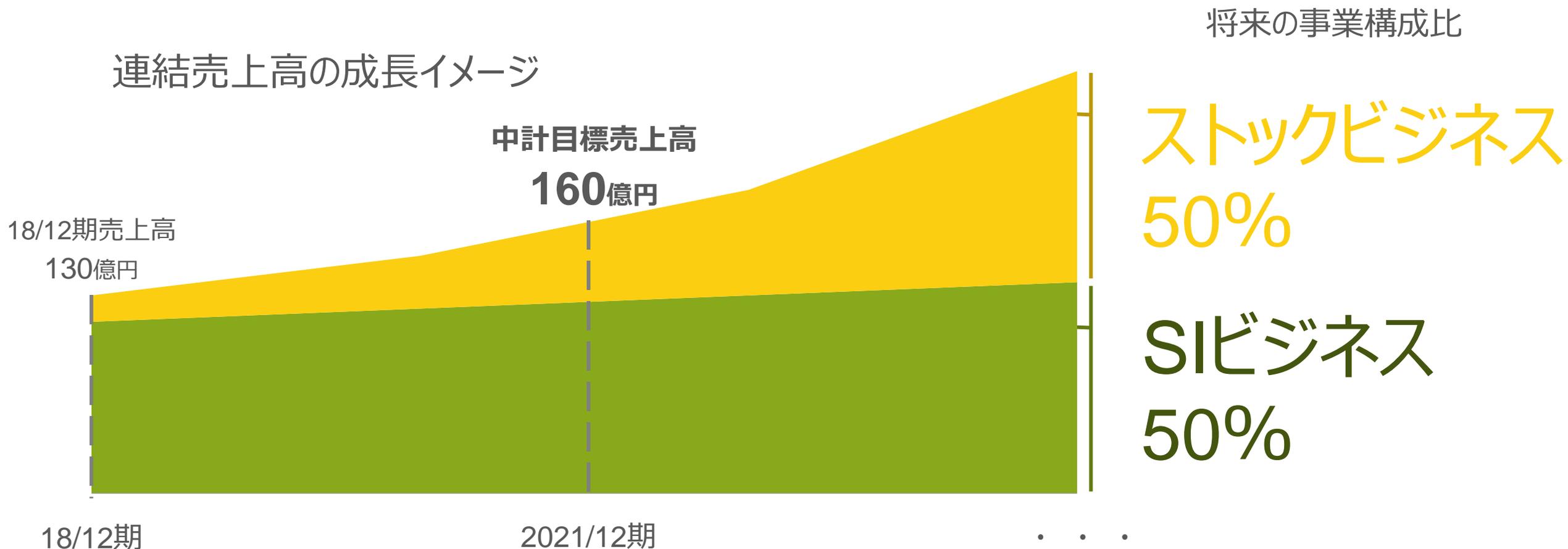
- 各分野で専門化された子会社を端緒に、最先端のニーズを確保



SIとストックビジネスの比率を50 : 50へ

- SIビジネスをベースとしながら、長期的にはストックビジネスを拡大、それぞれが50:50となるようビジネスを展開

連結売上高の成長イメージ



注力分野：FINTECH・AI・RPA

FinTech

ジーフィット(株)と資本業務提携

- ・同社は金融システムツールを開発・運用するテクノロジスト集団。システムトレード用アプリケーション運用サービス「シストクラウド」を運営するFinTech企業
- ・FinTechビジネスにおけるサービス提供、開発リソースの提供などを目的とし、資本提携済み

AI

(株)アックス主導によるAI分野への注力

- ・当社が14%を出資。AI関連ソフトウェアの開発が主。近年ではAI/自動運転で名古屋大学と産学共同研究中。トップクラスのオートウェアを有し、エヌビディアや国内自動車最大手企業も活用中。
- ・今後はSBIホールディングスとブロックチェーン分野へも応用予定。

RPA

UiPath社とのRPAプラットフォームプロジェクトの開発に着手

- ・米国UiPathは国内500社超、世界で1,800社超へのRPAサービスを導入するRPAのリーディングカンパニー。
- ・リセラー契約に加え、同日本法人と開発リソース・パートナープログラムを締結。コアの技術面からのサポートも可能に
- ・強みである金融分野を足掛かりに、2021年には市場規模100億と言われる*市場を見据え、RPAソリューションを展開予定*総務省の調べによる

APPENDIX





SOLXYZ = "Sol"ution × "XYZ"

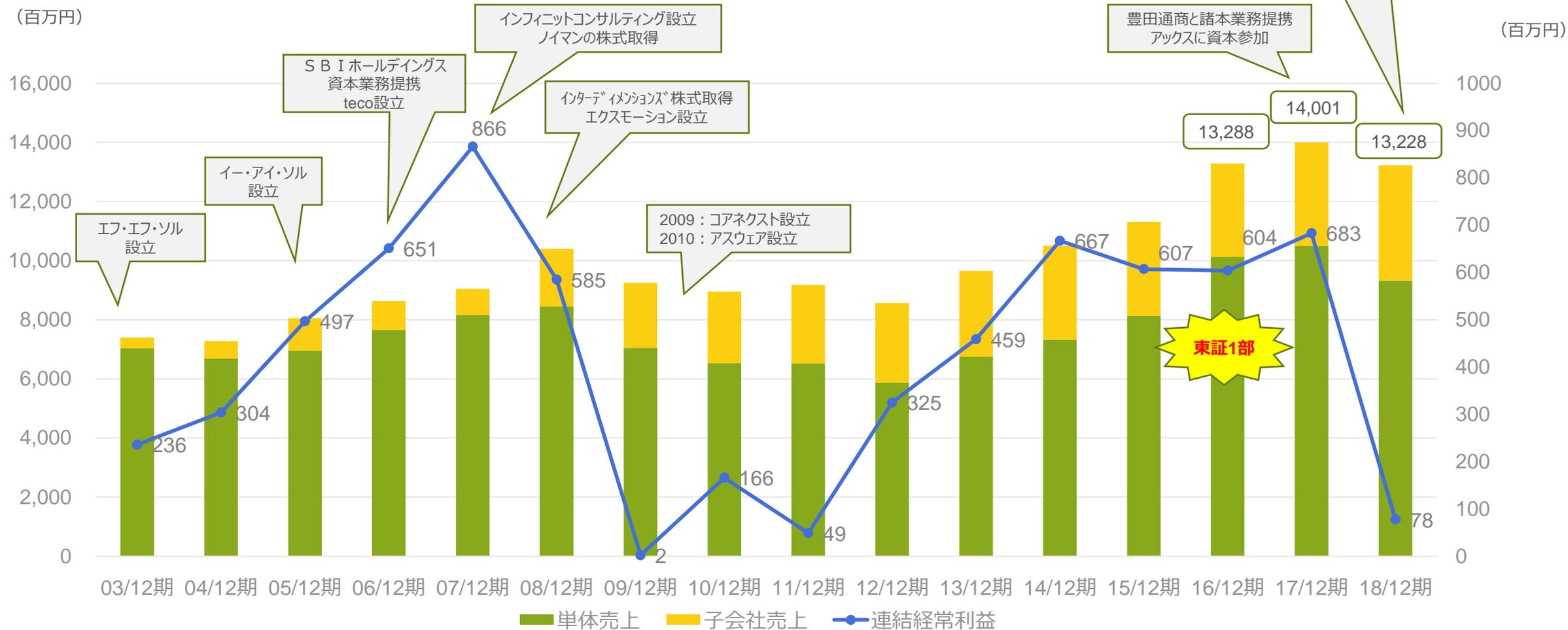
「情報技術の分野で究極の問題解決を提供し、お客様の夢を実現するソリューション・カンパニーを目指します。」

経営理念

1. 高い技術力を持ち社会に貢献する
2. お客様に最高の満足を提供する
3. 皆が夢を持ち続けられる企業を目指す
4. 新ビジネス・新技術へチャレンジする
5. グローバル企業を目指す

沿革と業績推移

連結売上高/経常利益



会社概要



SOLXYZ

株式会社ソルクシーズ

〒108-0023 東京都港区芝浦3-1-21

- 金融・通信・基盤分野などのシステム開発に専門特化
- 生活や企業のシステムを支えるインフラを、ワンストップで構築・運用する企業集団

- 社長 : 長尾 章
- 設立 : 1981年2月 (2019年度は40期目)
- 資本金 : 14億9,450万円 (2019年6月末現在)
- 売上高 : 132億2,863万円 (2018年12月期連結実績)
- 営業利益 : 6,346万円 (同上)
- 従業員 : 750名 (2019年6月末現在連結合計)

- 主要株主 :

SBIホールディングス(株)	2,150千株	16.0%
(株)ビット・エイ	1,320千株	9.8%
長尾 章	559千株	4.2%
(株)ヤクルト本社	530千株	4.0%
豊田通商(株)	134千株	1.0%
※自社株	977千株	7.3%
※発行済株式数	13,410千株	

(2018年12月末現在)

- 上場市場 : 東京証券取引所 市場第一部 (証券コード: 4284)

- グループ会社

(株)エフ・エフ・ソル	(95.9%)
(株)イー・アイ・ソル	(100.0%)
(株)インフィニットコンサルティング	(100.0%)
(株)ノイマン	(100.0%)
(株)teco	(100.0%)
(株)インターディメンションズ	(100.0%)
(株)エクスマーシオン 東証マザーズ (4394)	(60.6%)
(株)コアネクスト	(100.0%)
(株)アスウェア	(100.0%)
アセアン・ドライビングスクール・ネットワーク(同)	(75.7%)
(株)Fleekdrive (2019年5月7日営業開始)	(100.0%)

- 親密出資先

エンカレッジ・テクノロジー(株)	東証マザーズ (3682)	(3.4%)
(株)エーアイ	東証マザーズ (4388)	(7.1%)

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、当資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら、実際には通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、当資料記載の業績見通しとは異なるリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行われぬようお願いいたします。

【本資料へのお問い合わせ先】

株式会社 ソルクシーズ 経営企画室 秋山

E-mail: ir-post@solxyz.co.jp

Tel: 03-6722-5011 Fax: 03-6722-5021

<https://www.solxyz.co.jp>